



水産加工団地  
排水処理施設

約115m

約35m

約35m

約62m

注) 将来の施設増設への配慮事項

事業用地内の※Aは排水処理施設への流入管、※Bは排水処理施設から海域への放流管を示す。これらの管の口径は、日最大水量3,000m<sup>3</sup>/日を想定したもとなっている。本事業での施設規模は、2,000m<sup>3</sup>/日最大であるが、将来的に1,000m<sup>3</sup>/日最大規模を増設する際には、今回の事業用地内か増設時の事業用地内にて行う予定である。その際においても流入管と放流管は、1ヶ所ずつ(※Aと※B)である。施設増設にあたっては、既設となる2,000m<sup>3</sup>/日規模の処理を停止させることなく行えるものとする。以上のことを考慮した上で本事業における施設の配置計画を行うこと。なお、処理施設への流入水の水质のサンプリングにあたっては、返流水(脱水工程からの分離液の戻り水等)の影響を受けない形で行うこと。

- 注)   は事業用地を示す。  
概算面積 = 115m × 35m  
≒ 4050m<sup>2</sup>
- 注)   部は以前使用していた水路が埋設されているが、撤去可能である。
- 注) 図面作成にあたり、事業団地の枠内の斜線や文字等は適宜消すことはかまわない。
- 注)   は増設時の事業用地を示す。  
概算面積 = 62m × 35m  
≒ 2200m<sup>2</sup>

増設時の事業用地  
縮尺: 1/600 (A3)